植木病院だより

Vol.5
平成18年5月

発行所 〒861-0136 熊本県鹿本郡植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117 植木町国民健康保険 植木病院 発行人 鳥越 義継



看護配置基準の変更について



植木町国民健康保険 植木病院
院 長 鳥越 義継

この冬の厳しい寒波や寒の戻りのせいだったのでしょうか、今年の桜は昨年に比べ開花期間が短かったような気がしました。今や一面の新緑に桜の華やかさとは違った爽やかさを感じます。

この桜・新緑の候は人事異動と重なるのが常で、院内でも今年度20名の新緑（若葉とは限りませんが）を迎え新しい体制でのスタートとなりました。

とりわけ看護部門ではより適切な看護を行うべく職員の増員を行い、一般病棟の看護配置基準を15:1より1ランク上げて13:1の体制と致しました。

これは大まかには入院患者さん2.6人に対し看護師1名の配置を意味しますが、実際の勤務時間帯別に見ると、看護師1名の受け持ちは昼は7名以内、夜は23名以内の配置ということになり、若干ですが従来より看護密度が高まる事になります。

「医療制度改革大綱」の基本的な考え方の第1点目に「安心・信頼の医療の確保」が挙げられており、院内でもいろいろの取り組みを行って来たところですが、今回の増員がより良い看護の提供につながり、その一助になることを期待しています。

今後も各施設基準は必要に応じて適宜見直しを行い、基本理念に沿った医療提供を心がけて行きたいと思います。

部署訪問

今回は3階病棟を紹介します。



●当病棟は、外科系（外科・整形外科）の急性期病棟です。

看護部の理念である、「看護の専門職業人としての真価を発揮し、地域社会及び対象個々のニーズに応え得る質の高い看護サービスを提供する。」をふまえて、手術や急性期の治療・リハビリを受けられる患者様が安心して治療（療養）に専念していただけるように、患者支援のできる体制を整え、看護師個々の臨床実践能力の向上に努め、「根拠のある看護」「忙しいけれど患者様の看護ができる喜びに溢れた病棟にしよう」と頑張っています。

●みまもるということは…

いのちには限りがあるというあたりまえのことを、日々患者様より学び、「あきらめない可能性と不安」を抱く患者様を毎日を看ています。病を得た人を看護する者のまなざしは、病人がその巨大な不安に直面する勇気を与えるなにかが、あってほしい。生が真に有限である



ことを学んだ者だけが持つ、あの「優しさ」、不安に打ち克つ勇気を患者様に与える「どこまでも見守るまなざし」に磨きをかけて、看護ケアの提供を行おうと努力しています。

●安全で質の高い看護を提供するために、看護実践能力の向上はもちろんであるが、さまざまなフィールドでリーダーシップの発揮できる人材を育成しています。

医師・看護師・コメディカルの緊密な連携のもとに、チーム医療を推進し、健康の保持・増進のために、退院パンフレットを作成、個別の指導を行い、病棟・外来の一元化を図り、継続看護に努めていますが、「個別的・継続的な看護を行うことで患者満足度を高めること」を目的としている一元化の看護システムが稼動し、10ヶ月。

患者満足度は向上しているのかと常に考えて、一人一人の患者様と関わりの中で、看護師の職務満足度も向上する様、取り組んでいます。入院生活で不安なこと、お困りのことがありましたら、お気軽に看護師にお声をかけて下さい。

新スタッフ紹介



内科 科長　合志 和人

姓は、ゴウシとよんでいます。昭和35年大津町生まれです。昭和60年に熊大卒業後、熊大ー人吉ー大牟田ー熊大ー水俣ー八代と、県内を回りました。平成13年に植木に住むようになってからも、八代に通勤していました。今度、植木に来ることができました。専門は消化器内科（肝臓・胃腸）です。

少しでも地域のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。



外科 医員　髙橋 将史

植木病院外科に赴任しました髙橋です。熊大医学部を卒業し、宮崎県立延岡病院、福岡大学病院等で研鑽を積み、熊大病院消化器外科で基礎的研究と共に、肝癌に対する集学的治療（手術、化学療法など）に携わってきました。患者様に優しい医療をモットーに、皆様のお役に立ちたいと考えております。どうぞよろしくお願いします。



内科 医員　山城 武司

平成18年4月より植木病院に勤務しております山城武司と申します。平成15年に熊本大学を卒業後、大学病院、熊本労災病院、水俣市立総合医療センターの内科、循環器科で経験を積んで参りました。専門は、糖尿病、内分泌内科です。患者様の長期予後を考えて最適な治療ができるようにがんばりたいと存じます。宜しくお願い申し上げます。

診療情報便り

栄　養　科

栄養科の基本理念は「栄養管理により患者様の治療、健康回復をはかり、個人の食生活・嗜好を大事にした安全な食事作り」とし、患者様の栄養アセスメント・栄養情報の提供等に取り組み、個々の病状・嗜好に対応した食事作りをしています。食事と栄養管理が十分機能し、病態の改善・治療・治癒に少しでも貢献することを目指しています。

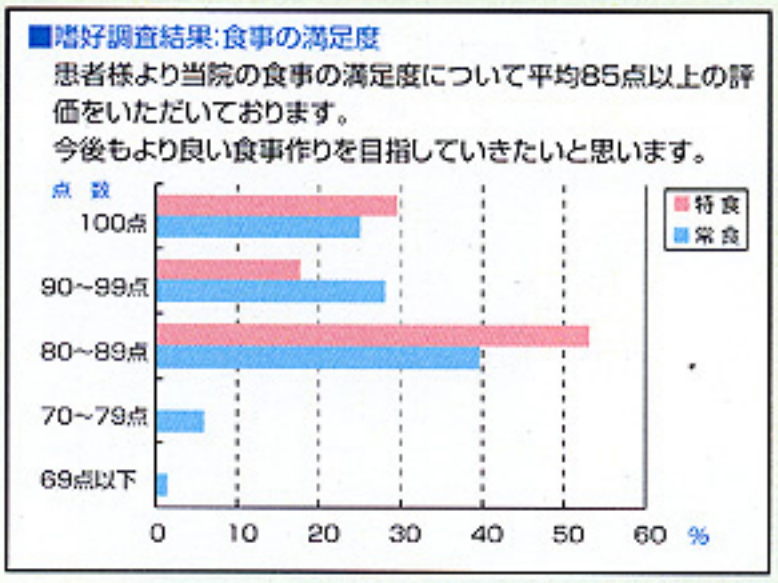
スタッフは管理栄養士2名、調理師12名（委託）です。

植木病院では、選択メニュー（患者様の嗜好を取り入れたバラエティーに富んだ食事）実施をしており、患者様は朝・昼食（主菜）を2種類から選択できます。選択メニューは現在、7分粥以下の粥食を除いた全ての患者様が対象です。

個別対応としましては、各種コメントにより対応（入院時の調査）し、週2回の小調査と年4回の嗜好調査を行い、結果を献立に反映させると共に、病棟カンファレンスに参加し、病状に応じた食事の提供に配慮しています。

■嗜好調査結果:食事の満足度

患者様より当院の食事の満足度について平均85点以上の評価をいただいております。
今後もより良い食事作りを目指していきたいと思います。



●その他年20回の行事食を行っています。


節　分


開院記念日（12月1日）


子供の日


ひなまつり

栄養指導は入院、外来ともに医師の指示を受け、2名の管理栄養士で対応。各食歴、病態に応じて指導を行っております。

主な指導対象疾患は糖尿病、肝臓病、胃潰瘍、腎臓病、貧血、膵臓、高脂血症、痛風です。指導時間は外来：月曜～金曜の午前9時～午後4時、入院：月曜～金曜（土日も相談により可）の午前9時～午後4時です。

■平成15年～17年までの栄養指導件数

	外　来	入　院	算定外	計
平成15年	98	46	191	335
平成16年	86	71	174	331
平成17年	65	94	223	382

●健康教室



会　食（一例）<大腸癌予防食>

- 新生姜ご飯
- 野菜ポタージュ
- サーモンソテー味噌きのこソース
- 大根卸し
- いろいろ野菜のサラダ
- 簡単いちご大福



本年度4月から入院食事療法の特別管理加算の改訂に伴い、入院患者様のスクリーニング・アセスメントを行い、それに基づく栄養管理に更に力を入れて取り組んでいます。

また、外来の患者様や一般の方を対象に、月1回の糖尿病教室、年4回の健康教室を行っております。会食時には患者様にテーマに沿った資料とレシピをお渡しし、食育や地域とのコミュニケーションをはかるよう努めています。

外来からのご案内

◇健診科

①人間ドック（オプション有ります。）
　●日帰りコース　●通院2日コース　●1泊2日コース
②生活習慣病予防健診
③企業健診
④乳がん検診　触診とマンモグラフィー（町の助成金有り）
（お問い合わせは、国保植木病院
医事係　TEL096-273-2111内線101）

◇健康教室:3ヶ月に1回（5月・8月・11月・2月に実施予定）
内　容:食事会と講演会
場　所:国保植木病院　2階会議室

◇糖尿病教室:毎月第1・2・3木曜日　国保植木病院2階会議室
（お問い合わせは、国保植木病院　外来内科
TEL096-273-2111（内線140）

外来診療のご案内

（平成18年5月1日現在）

診療科＼曜日	午前午後	診察室	月	火	水	木	金	土
内科	午前	第一診察室	勇	勇	勇	勇	勇	担当医
		第二診察室	山城	合志	合志	山城	合志	
循環器科	午前	循環器診察室	新冨	鶴田	上村	鶴田	福永	
外科	午前	外科診察室	島越	久米	犬塚	久米	犬塚	担当医
整形外科	午前	整形診察室	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	
脳神経外科	午前	脳外科診察室				担当医		
午後総合診療科	午後	外科診察室	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	

① 午後は総合診療科として担当医が対応し、必要な場合は各科医師が対応します。
② 土曜日は外科・内科で各科担当医が対応します。
③ 脳神経外科は第2・第4木曜日の午前中のみです。
④ 当院では再診予約制を取っております、診察時に次回予約を取って下さい。
また、予約変更の電話については、午後にお願いします。

診 察 日:月曜日 ～ 土曜日
休 診 日:土曜日の午後・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
受付時間:平　日 ／ 午前 8:30 ～ 午前 11:30
午後 1:00 ～ 午後　4:30
土曜日 ／ 午前 8:30 ～ 午前 11:30
※ただし、急患の方は、いつでも受診できます。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」を平成14年12月に開設しましたので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

地域医療連携室
担当者：前田 由美
電　話：TEL096−273−2111（代表）
096−272−0854（直通）
FAX096−272−0854（直通）



植木町国民健康保険
植木病院位置図

交通アクセス

九州産交バス
「町立病院・かがやき館前」バス停下車
熊本ー山鹿線をご利用の方は、
「五霊中学校前」バス停下車徒歩5分

乗　用　車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

病院の桜も散り新緑の青々した葉が顔を出しています。先日は山鹿の日輪寺へ行ってきました。つつじが花盛りでちょうど見頃を迎えていました。花の移り変わりとともに夏の訪れを感じる季節となりました。

医療界におきましては、今年度診療報酬及び介護報酬の改定があり、4月より内容が大きく変わり把握とシステムの変更に戸惑っています。理学療法士という職業からか介護保険などの内容について聞かれることがあり、説明をする機会が少なくありません。制度の改定に伴う情報を提供する為にはまず、自分自身が十分理解をしていないといけません。退院後の生活を安心して送れるために、満足の得られる医療の提供と介護保険サービスの有効活用に努めていきたいと思います。　理学療法士

編集後記

桜の季節になると思い出すシーンがある。

私が、以前ＩＣＵに勤務していた頃、80歳代女性の担当になった。その方は、入院中気管切開を余儀なくされた。入院当初から言葉を失われた後も変わらずに訴えられていたのは、生まれ故郷の荒尾に帰りたいということだった。その時の病状からそれは不可能だったが、その願いに近づけるようにと私も必死の思いだった。

桜が満開の時期になった頃、私は荒尾の春を感じて頂けないものかと思い、通勤途中、満開の桜の枝を少し失敬してＩＣＵに持ち込み、こっそりと2人だけのお花見をした。久しぶりに見るその方の笑顔が嬉しかった。その方は、それから約3週間あまり闘病され、晴れて荒尾の病院に転院できるまでになられた。運良くその同伴をさせて頂くことになったその日は穏やかな小春日和だった。病院に到着し病棟へ向うエレベーターの中から、その方は合掌し何度も何度もありがとうと唇を動かし涙されていた。

その4日後、その方は荒尾の土に還られたと聞いた。その後、私の看護師人生の中で様々な困難に出会う時、あの方の最期のありがとうと合掌されていた顔が思い出される。あの時のような患者様とのストロークを感じたくて、私はこれからも看護師を続けていくのだと思う。　凜